

1.自己紹介

私は、「(公財)志布志市農業公社」で施設ピーマンの研修生として2年目(最終年)となる竹之下 雄亮(たけのした ゆうすけ)です。出身は隣の宮崎県で、パソコン関係の会社員でしたが、令和5年度末に退職し家族(妻)とともに志布志市へ移住して、同年の7月に妻とともに研修生となりました。



竹之下雄亮さん

2.研修に参加した理由

会社員時代、兄が同公社の研修生として研修を受けていたため興味本位で見学を行った際、ピーマン栽培にスマート農業が取り入れられていることや、虫害対策に天敵を活用した防除方法が行なわれているのを目にして、自分がこれまで抱いていた農業と全く違うものであったことに感動し、自分もやりたいと考え研修に参加しました。

3.研修内容について

2年目の研修では、定植から日常の肥培管理、収穫まで全ての作業が任されることになり、夫婦でピーマン栽培に没頭しています。栽培における温度管理や水管理については機械化がなされていますが、生育状態や病虫害の発生状況等については日々の観察が大切で、定植してからはほぼ休みなしで施設に通っています。また、これまでには夫婦ともに屋外で体をあまり動かすことがなかったので、研修初期は体力に不安がありましたが次第に慣れてきたところです。しかし、昨今の残暑が異常に厳しいため、生産者もピーマンも過酷な環境に置かれていると実感しています。



4.将来のビジョン

来年の6月で研修は修了するため、その後は一経営者として夫婦で冬春ピーマンを栽培していきます。就農時は栽培面積 29aを計画しており、ピーマン部会の平均反収 14tを目指したいと考えています。

夫婦での誘引作業の様子

5.これから就農を目指す人へのメッセージ

農作物の栽培においては、気象条件等が毎年違うため思い通りにいかないこともあると思いますが、栽培の基礎を学んでおくことが最も重要であると感じています。当公社のような実践的に学べる研修施設の活用が就農への着実な一步になると思いますので、ぜひ見学に来てみてはいかかでしょうか。

研修先：公益財団法人 志布志市農業公社 担当者 企画研修係長 有川

所在地及び連絡先 志布志市松山町泰野 379 電話：099-487-8239

e-mail:arikawa-nobuyuki@shibushi-apc.jp

<https://www.shibushi-apc.jp/>